

税金も楽しげな童顔に

さる日、陽光に輝く新校舎を訪れた時は、ちょうど明るく教室に満面喜々とした童顔が並び一心に授業に励んでいた。それはあたたかも、あすの



下庄小学校 全工事を完成



〔既報〕下庄小学校は総工費四千四百三十万円をもつて鉄筋コンクリート三階建、総坪数七百七十五坪で採光、通風、耐寒、耐震、衛生設備ともに近代建築の粋を集めその完成を

文化輝やく目がねの学園

完成した校舎の風景
上左 校舎内の一景

市民の幸せを象徴しているかのようであつた。

ここで市政実現らしい新築された校舎を拾いあげてみると
①有終中学校特別教室②有終西小学校特別教室③有終南小学校普通教室④小山小学校⑤嵐分校⑥六呂師分校⑦上庄小学校講堂⑧廣生小学校などでこの増改築費に一億余円が費されている。
なお戦後は義務教育の年限

齋藤市長は越美北線、有終西小学校改築、その他建設事業を積極的に推進するため、四月十四日上京、関係方面へ陳情にあたり十九日帰庁、市長室での記者会見に次のとおり語つた。
越美北線には当初の計画では三億七千万円が予想されていたが新計画では四億円以上を期待することができ、また鉄道建設審議会では三十三年度で五億円三十四年度では四億円の配分を内定しているの三十三年度には福井・大野・勝原間四十五キロ

市長、上京のみやげ話

有終改築に明かるい見通し

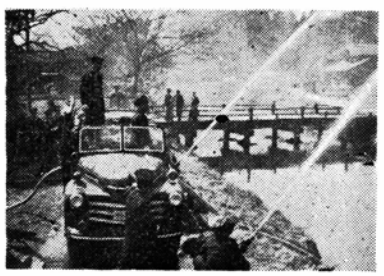
一億二千万円を要しこの第一期分は五百坪、工費三千五百万円でのうち国庫補助金九百万円、起債額一千八百万円を予定しさらに八百萬円の自己資金を見込み早急に着手したい。

が三年間も延びこれに必要な校舎の建設を財源力の乏しい市町村におしつけられたことが原因ともなつて、全国の市町村の大半は赤字財政に閉じこめられており大野市もその例にもれないにもかかわらず昨年度に引続き本年度も教育施設の充実を市政目標の第一にあげ、あすへの資本の蓄積としてその万全を期している

実戦さながらの手ぎわ

功績あつた団体を表彰

四月八日は恒例の春季消防総合訓練が行われた。
この日午前九時、異常乾燥



なお建設関係では国鉄駅前区画整理事業、春日線延長二百五十米、幅員八米の新設と三番通り、七間、六間の間六間通りの三番一五番間の舗装工事に三百万円ずつの補助金が確定したのでこの着工も間近だと思われる。

と烈風下に春日町某機業場から出火、横町、鋸町通り以南の市街地一帯が延焼中との想定のもとに、消防署員、団員ら四百四十九名と消防自動車十一台、手引ガソリン、小型動力ポンプなど二十一台が総出動、消火に当つたが烈風のため次々に飛火して火勢を増し延焼地域は拡大したが、指揮者は全消防機を巧みに総合統すいて消防員や機械器具の威力を十二分に發揮し同九時三十分ようやく鎮火という現実さながらの訓練が行われた。赤根川べりの放水訓練、その後分列式、放水訓練、人員、器具点検が行われ、とくに消防に功績のあつた団体や個人の表彰、市長、市議会議長、警察署長らが団員を激励し消防署長の講評の後解散（表彰者名は二面に登載）



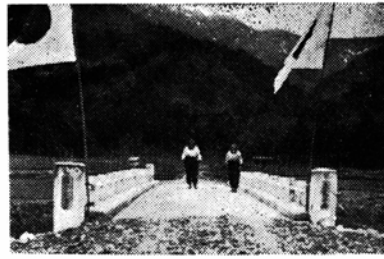
風見鶏

春から初夏にかけては結婚の季節である。大安の日には折々街なかでお嫁さんのあいつつ回りにでくわすことがある。新しい社会の一位がその日から生まれるのだからまことに意義ある日といわねばならない。▼結婚と切つても切れないのは酒であるが、飲む「こと自体は決して悪くないし、現在の日本（特に政治面で）急に酒をやめさすと、日本のすべての回転がストップするよきな心配におそわれる。▼そこで考えてみたいのはその飲み方である。外人は食事の前に食欲を進めるために飲む。だから目的は「ものを食べる」ことにある。日本人も食事の前に飲む。ここまではよく知っているがあとは天地の差がある。▼外人は酒を軽くきりあげてサツと食事を始めるが、日本人はドツカと腰をすえてたら腹さしめすことになる。そのために食欲はみごとにけしとんでほとんどの人が飯を食えなくなる。だから日本人の酒の飲み方は「ものを食べられなくなる」とにあるらしい。▼酒は百薬の長という事になつてゐるがこうなると栄養は片よるし肝臓は悪くなるし、さんざんなことになる。楽しく飲むことと前後不覚になることはどうやら違ふらしい。

永久橋に生まれかわる

赤根川上流の上荒井橋

市道上荒井線の赤根川上流に架かる上荒井橋は、木造で老朽が甚だしかつたので昨年十二月、総工費八十万円で架替に着手、このほど長さ十六米、有効幅員三米六十厘の鉄筋コンクリート



(新しくお目見えした上荒井橋)

団長に飼田了君

市連合青年団役員決る

四月五日大野市役所下庄出張所において市連合青年団の単位団長会が開かれ次のとおり新役員が決まった。

- ▽団長 飼田了▽副団長 榎海、同大谷忠、同石塚洋子、同堀山公子▽事務局 坪内繁男▽文化部長 松浦敬一▽社会部長 中村甚右衛門▽産業部長 伊藤健一▽体育部長 堂下一郎▽生活部長 坂本治士▽情宣部長 田中必勇▽顧問 吉田隆太郎

三千五百万 円が灰に

昨年中に市内で起きた火災は二十四件でこの原因のうち最も多いのが取灰の不始末(六件)つぎがこたつの不始末(四件)こんろの飛火(二件)乾燥場煙道の過熱(二件)その他(七件)となつてゐる。

昭和31年市内火災統計

火災発生件数	24件
焼失建物坪数	1,185.5 坪
損害見積額	34,956,500.00円
死傷者(含畜)	軽傷2 牛馬焼死5
1日平均損害額	95,771.23円
市民1人当損害額	791.17円
火災1件発生間隔	15.2 日
火災1件平均損害額	1,456,520.83円

＜換算すると＞ 焼失建物坪数 1,185.5坪、15坪の住宅が79戸
損害額34,956,500円、70万円のゾープが50台灰となつた

月時刻別では											
(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 12
(件)	3	2	2	2		1	2	3	1	2	3 3
(時間別)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 12
午前	2			2		2		2			
午後	2	3	1				1		3	1	2 1

(昭和31年1月1日～昭和31年12月31日まで)

店舗改装資金の貸付け

中小商店に福音

市では本年度中小商業者に対して一千万円の融資預託金のほかに二百万円店舗改装資金の貸付制度を設け、発達した活況のある商業の街となるようつとめてゐる。この貸付は大野信用金庫に預託し、次の要領で行われるが申込は早急に市商工課まで。くわしいことは同課で問合せてください。

- △市内で店舗診断を受けた店
- △二人の連帯保証人が必要
- △貸付金は一店舗十万円以内、無利子貸付

日赤事業推進に御協力を 五月は社員増強運動月間

世界の平和と人類の福祉に寄与する日本赤十字社ができてから八十周年になります。五月一ばい社員増強運動月間ですから御力ください。

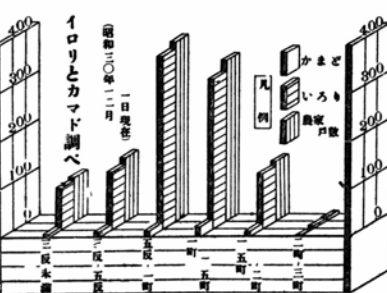
- 一、普通社員(毎年三百円以下または一時に千円以上三千円以下納入の者)
- 二、特別社員第二種(十年以内三千万円以上一千万円以下納入の者)
- 三、特別社員第一種(十年以内一千万円以上五千万円以下納入の者)
- 四、有功社員第二種(十年以内に五千万円以上十千万円以下納入の者)
- 五、有功社員第一種(十年以内に十千万円以上納入の者)

納税で橋も道路も学校も汗で働き笑顔で納税

グラフを眺めて

15

明かるい台所はいつ？
考えたいイロリのは非



日常生活の中に文化を取り入れて明かるい生活環境を作るために新生活運動が呼びかけられてゐるが、この運動の一つにイロリの廃止、カマドの改善も加えてほしいものである。

農家住宅はあちこちで新築されてゐるが、いぜんまだまだ古い台所にはイロリが目につく。

ある新築家を尋ねると若い青年が「イロリを廃止してカマドやストーブに替えたが、年寄は火が見えないと淋しいと反対するのでやつぱりイロリにしました」という。

イロリはばい煙とちたぼこりがひどく、家はよごれ衛生的にも良くない点が多いし、燃料も不経済である。生活改良普及技術員が足を棒にしてこれらの改良を説いて歩いて、まだ近い将来には美しい台所がお目見えして環境衛生に恵まれたしかも燃料が節約になる明かるい生活が実現しそうなもの。

員として百円以下を寄付していただくことになつてゐる。

- ◇大野市防火協力会長表彰
上中野自警団、不動堂自警団、松田機業K自衛隊
- ◇大野市消防団長感謝状
元第一分団長 宮田 準
- ◇大野消防協会長表彰
副団長 土屋栄、第一分団部長 高岡重雄、第二分団部長 池田庄太郎、第三分団部長 北川清第四分団 佐々木正、第五分団 班長 十木勉、第六分団 松藤松太郎、第七分団 山口三男、第八分団 中山一栄
- なお大野市消防署長は神谷正夫署長に、望楼勤務中火災の早期発見とその精勤をたたえ精勤賞を贈つた。

今月の氣象豫報

5月

中旬は晴れる 下旬につゆの走り？

が予想され、山沿地方では晩霜のおそれがある。また降水量はやや多め。

〔天気〕

◇上旬 大陸高気圧は弱く北偏して北日本に張りだすため本邦南岸には前線が発生しやすくなり、天気は崩れやすい。各地とも雲の多い天候が予想されるが月末には高気圧が西日本に張り出すため天気は回復に向う。

◇中旬 大陸高気圧は発達して西日本に張りだし、これより分離する移動性高気圧は本邦を通過する。低気圧は北海道東方洋上で発達するものが現われる見込み。天気は概して晴れの日が多く、低気圧の通過により一時雲を増すことがあつても回復は早い。

◇下旬 オホーツク海に高気圧が現われるため、本邦は前線帯となりやすく、南岸沖には弱い低気圧が東進する天候は概して曇が多く、梅雨の走りが見われる。

〔概況〕

中旬に晴れの日が多い見込み。その他は変わりやすい天候で特に下旬には曇天が続く走りづゆが現われる。

気温は上旬末から中旬にかけて低い期間が続き、山沿地方では晩霜のおそれがある。また降水量はやや多め。

る。

〔平均気温〕

◇上旬 始めは高いが下降傾向となり月末から中旬にかけては晩霜のみる地方がある見込み

〔降水量〕

◇上旬 やや多め ◇中旬 少なめ

◇下旬 平年並

市の建設譜を明かるく

防犯連絡協議会生まれる

市民待望の越美北線、電源開発工事、および上着工され特に電源開発事業については、明年七月に発電開始という超実工事でもあるので、多数の人と機械器具が集まることは予想でき、このためにいろいろの犯罪や事故の発生を未然に防ぎ、明かるい工事場として、楽しく大野市の建設が進むようにするため四月十日大野警察署に防犯連絡協議会ができ、全市民にも協力をお願いする。

しごとがなく お困りの方に

職業がなく、お困りの方は、急に大野公共職業安定所または市役所の民生課までお申込みください。

八時間労働で一日平均二百三

十円程度。これはいま市と大野土木出張所とで行っている失業対策事業です。

日露戦役

勇士会が誕生

四月二十一日午前十時から寺町瑞祥寺で、日露戦争に活躍された二十五名が寄つて日露戦役勇士会の発会式が行われた。会長には七間の岩田弥作さんが選ばれ、今後の事業として同戦争で戦死された方々の追悼法要を年々行い、また生存者が語り合うことを申合された。

この戦争に参加された勇士、または戦死者の法名を関係者は七間岩田弥作さんあてに知らせたいとのこと。

農事メモ



〔苗代の管理〕
アオミドロやコエカワが発生すると思われたら早めに銅水銀剤一二匁を水一斗に溶かした液を

一三%、粉剤一坪当り一キログラムを床面だけでなくうねの内側へも十分散布し、できればそのまゝ一屋夜放置する。霜の恐れがあれば四一五時間水を入る。

〔本田の施肥〕 湿田における石灰窒素の使い方、尿素を元肥に施す場合、硫酸石灰など施肥法には改善の余地が多いから普及員などの意見を聞いて合理的にやつてほしい。

〔果菜の定植〕 果菜類の定植は地温が摂氏一四度をくだらぬようになつて植付ける。なお晩霜に対しては十分警戒を要する。そして比較的低温に強いカボチャからトマト、キュウリの順に植付けし、高温を必要とするナスは中旬頃が安全である。定植の日には暖かく曇天無風の日がよく、風や冷雨の日は禁物である。定植時は苗床に十分かん水して大きな根鉢をつけて極力水い

中央公園の建設など新市にふさわしい街造りに拍車をかけている

〔農耕牛馬の手入れ〕 四月から五月にかけて荒起しやしろかきなどに使役されるので、四肢も非常に荒れてくる。農耕を終えたあとには丁寧に湯洗するとか水洗いをしてやる。



商魂みなぎり 一段の繁栄

その名も明るい「えびす繁栄会」

目標についていろいろ豊富な構想を話してくれた。

まず道路の舗装、街路燈の取付、店舗の改装、商店の誘致に励み、さらに明るい店とよい舗装路を作り、顧客に気持ちよく買



(えびす繁栄会の夜景)

完納が 街の文化の

パロメーター

市の観光に一きわ 花をそえる萩原さん

このほど東京都在住の萩原貞子さん(当市出身)から、美し



(生長を急じつつ桜木の植付)

い大野市を作るために八重桜の苗木百本(現在花付)の寄贈がありましたので、商工課ではさつそくこの御好意にそうため赤根川べりへ植付けました。

この寄贈は風光明媚な市の観光にさらに花をそえることになりました。

このように郷里を離れた人々は市の観光に力を入れてくださるのに、市内には最近亀山公園や街路樹の根付けた若木を折る心なき人もいます。これは大変はずかしいことです。市民が協力してこのような悪い行いを注

意したい名実ともに恥じない観光大野市の建設に当りましょう



ことしの保険税の計算

⑦ E子 ことしの保険税の計算はどうなりますか
(答) 一、年度替えて第一期分(四、五、六月)保険税の所得割額は、その計算の基礎であることしの市民税の課税総所得金額が六月でないと決まらないので、第一期分に限り昨年度の課税総所得金額で仮算定し、第二期分以後(七月以後)で修正賦課いたします。

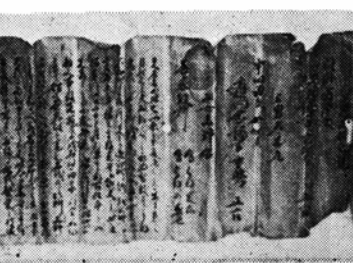
(郷土いろはかるた) たばこの産額県下一



大野市は本県第一の葉たばこの産地で、県の収穫高の約三〇%を産する。作付面積二一七・八町歩、収量五〇万八五・九キログラム、富田、阪谷、上庄、下庄地区に多い。二月末播種、四月下旬植付、七月上旬から収穫して乾燥し、十一月から専売公社の出張所に納めるのである。

二、資産割額はことし納める固定資産税の土地と家屋にかかる部分の額にあん分計算します。三、人数割額および世帯平等割額は賦課期日の現在数でのおお

くの功績を残している。



(松田家につたわる 古びた由来書)

上野部落の草わけ 松田太郎左衛門のこと

どこの村でも草わけの先祖があつたわけであるが、正確な記録がないのでいつごろ誰が草わけしたかわからないのが普通である。ところが大野市ではつぎり草わけのわかつている部落が一つある。旧富田村の上野部落がそれだ、その記録が今に残っている。記録は大要次のようなものである。

今から約六百余年前京都の「くげ」で藤原氏系統正二位大納言松木宗頭の子に大木丸という人があつた。四糸の河原で上野姫という女を見そめ恋仲となつた。上野姫は宇田源氏の庭前大納言重条という「く

し、富田の地までやつてきたがそのとき持つていたお金はすっかり使つてしまひ、もはやガ死するまでに落ちぶれていた。

そこで二人は原野をひらき農業によつて生きようと決心し、さつそく小屋掛けに取りかかり

「げ」の娘である。たびたびのいましめも聞入れず想愛の熱情は日とともに深くなり二人は遂に勘当された。そこで二人は地位も名譽も捨て家出して諸国を流浪し、越前に入りあちこちさまよい、平泉寺、黒谷などに参拝

な記録を子息弥七郎に与えたがそれが現在残っているものである。太郎左衛門は永和四年二月二十九日(今より五百八十年前)九十二歳で死去した。その後松田家は大いに栄え、大関検地や大阪夏の陣に活躍したほか多

声

読みたい市報が届かない
私の所へは市報が届かないとき

ある。
われわれは直接市政を知る機関としての市報をただひとつの頼りにしている。伸び進む市の発展の状況がありありとわかり明る市民の動きや農事メモ、婦人メモなどを興味を持つて読んでいます。

完納に婦人も
後押すたすぎがけ
滞納は伸びる市政の
芽を枯らす



墨とインキのしみぬき

ているが、これも誠に結構な事だが、もうすこし掘りさげて直接市民の生きた声を聞くような機会を作るべきである。さらに市報を早く完全に配るよう希望する。
(乾側 T生)

ワイシヤツやブラウスにインキや墨がついたとき、ごはんつぶをねり付けて水の中でもみますと汚れがおちます。一度で落ちない時は二、三度繰りかえしますときれいに落ちます。

△カーボン紙の永持ち法
複写や仕切書に用いられるカーボン紙は何回も使ううちにインキがうすくなつてきれいに書けなくなつてしまひます。これをよわい火の上であぶると、ろうとインキがしみ出て再び使えるカーボン紙になります。

△ニュームなべが焦げついたときは卵のカラをこまかく砕いてこするとよくとれます。△毛糸物類はよく洗つてから防虫剤とともにポリエチレンの袋に入れて口を三つ折りにして縫いとめて保存する。